

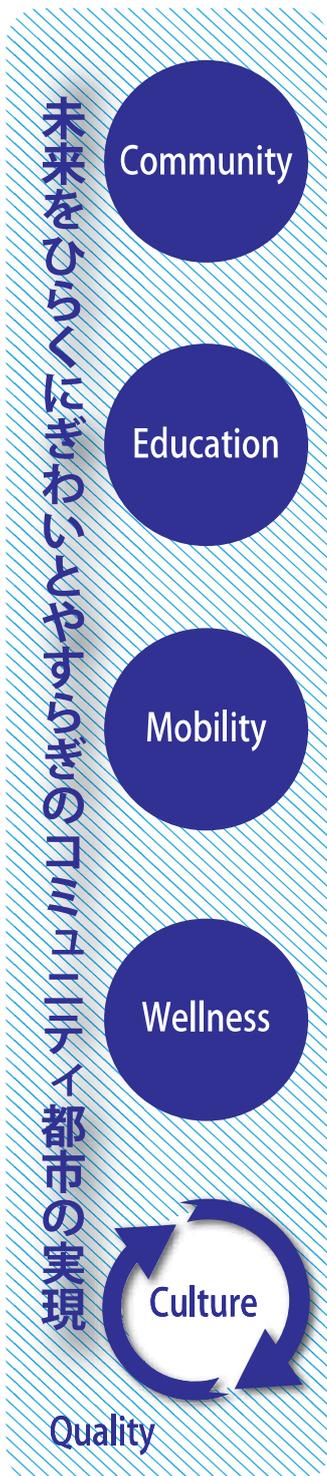
6. 整備コンセプト

本計画は「未来をひらくにぎわいとやすらぎのコミュニティ都市の実現」に向け、高架下やその周辺における新たな機能の充実を図るものです。

整備にあたってのデザインは、市の政策や西鉄の方針、リーシング戦略等を踏まえた事業コンセプトを基に、主要な利用者の利用シーンを想定し、空間づくりの方向性を導き出すものとします。

【事業コンセプト】

【主要ターゲットと活動・シーン】



近隣の住民	自分だけのちょっとした居場所・ 趣味が見つかる、楽しめる・ 地域イベント等みんなが集いやすい・
地域の子ども	友だちと広場で遊ぶ・ 子ども向けのイベント、スクールに参加・ 広場や施設で地域間の交流・
子育て世代の 家族	子ども連れで楽しめる・ ママ友たちが知り合える、得意が活かせる・ 家族の健康づくり・
大野城市の高 齢者	生涯学習や生きがいづくり・ 散歩や健康づくり・ 活動を通じた多世代間の交流・
市内外で活躍 する働く世代	通勤途中の休憩、立ち寄り・ パーソナルモビリティでの移動・ 多様な働き方を支えるコワーキングの利用・
近くの学校に 通う生徒	歩きや自転車が安全で快適なみち・ 部活動の練習や発表・ 放課後に過ごす場所・ 自主勉強や学外スクール・
筑紫地域を中 心とした市外 からの来訪者	マルシェ等のにぎわいのイベント・ 大野城トレイルを楽しむ・ 高架下から始まる大野城のまち歩き・
西鉄を利用す る観光客	太宰府・水城など歴史資源探索・ 西鉄での観光途中の立ち寄り・ 高架下周辺の話のスポットへのおでかけ・
訪れたみんなが楽しめる・交流できる	

【整備の方向性と資源・コンテンツのイメージ】

様々な居場所をつくる

- ・自分に合った居場所が見つかる多様な滞留スペース
- ・日常からイベント時まで、様々な活用に対応する仕掛け、交流を育むデザイン
- ・子どもからお年寄りまでの遊びの場・学びの場

- ・ゆっくりできるカフェ
- ・学習、図書スペース
- ・キッズスペース
- ・定期的なイベント
- ・カルチャースクール

歩行者にやさしい、回遊を育む

- ・回遊を促す、歩きたくなる仕掛け
- ・誰にでもにやさしいユニバーサルデザイン
- ・東西方向、南北方向へのつながり

- ・屋根のある道
- ・シェアサイクル
- ・歩きやすい舗装
- ・次世代モビリティ
- ・わかりやすいサイン

豊かな緑を感じる

- ・都市を潤す緑を育む、活かす
- ・周辺の自然環境とつながる
- ・1年を通して四季の移ろいを感じ、木々の成長とともに風景の成熟を感じる

- ・周囲の山なみや牛頸川、御笠川とのつながり
- ・桜並木とのつながり
- ・潤いある足元や通りの緑
- ・季節を感じる草花

大野城の歴史・文化や自然とつながる

- ・大野城トレイルとつながる
- ・歴史をとりこむ、気づきが生まれる仕掛け
- ・大野城の自然、大野城らしさを感じられるデザイン

- ・大野城、水城等の史跡や太宰府とのつながり
- ・大野城トレイル
- ・地産地消
- ・ものづくりの技術、文化

まちと調和し、都市のシンボルとなる

- ・まちのスケールを大事に、生活環境との調和を図る
- ・東西方向のつながりを感じられる抜け感
- ・ヒューマンスケールに対応したデザイン
- ・都市景観をけん引するデザイン

- ・高架構造物や住宅地との調和
- ・まちを彩る魅力づくり
- ・高質なオープンスペース
- ・市民ガーデンなど参加して育む場

【整備コンセプト】

Diversity ダイバーシティ

多様な人々にとって
この場所ならではの
使い方ができるデザイン

Park Line パークライン

高架沿いから公園のような
雰囲気まちに広がっていく
歩きたくなるデザイン

ONOJO Landscape ランドスケープ

大野城ならではの
新たな風景を生み出す
デザイン

デザインへの展開

整備コンセプトに基づいて、デザインのアイデア例を以下に示します。

Diversity

多様な人々にとって
この場所ならではの
使い方ができるデザイン

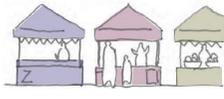
誰にでも使いやすく
安全で安心なデザイン



足をとめたくなる
多様な居場所



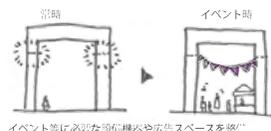
様々なイベントができる
大きな広場・小さな広場



たくさんの活動の場

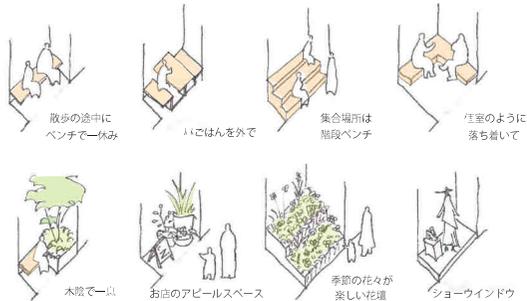


イベント等にも対応しやすく



イベント等に必要設備機材や広告スペースを確保

まちに様々なたまりをつくる



散歩の途中に
ベンチで一体み

ハコはんを外で

集合場所は
階段ベンチ

住室のように
落ち着いて

木陰で一品

お店のアピールスペース

季節の花々が
楽しい花壇

ショーウィンドウ

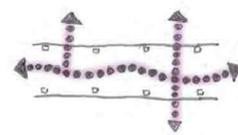
Park Line

高架沿いから公園のような
雰囲気まちに広がっていく
歩きたくなるデザイン

雨に濡れずに歩ける連続した歩行空間



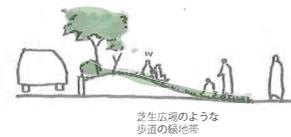
東西につながる動線の充実



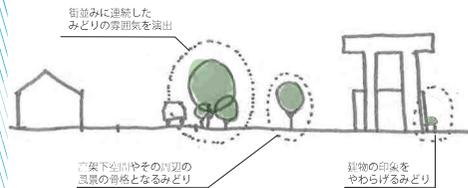
歩きやすい舗装や歩きたくなるサイン



広場のように使いたくなるみどり



街並みを彩る様々なみどり



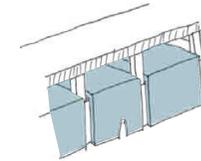
季節感の演出



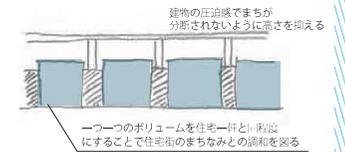
ONOJO Landscape

大野城ならではの
新たな風景を生み出す
デザイン

高架柱と同じリズムで連続する
建築システム



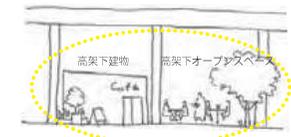
住宅街の風景に調和する
小さなボリュームの連なり



高架下と一体的な歩道



高架という細長い屋根でつながる



質感のある材料を使う



木材や石等の自然素材の活用

場所の特性を活かす

